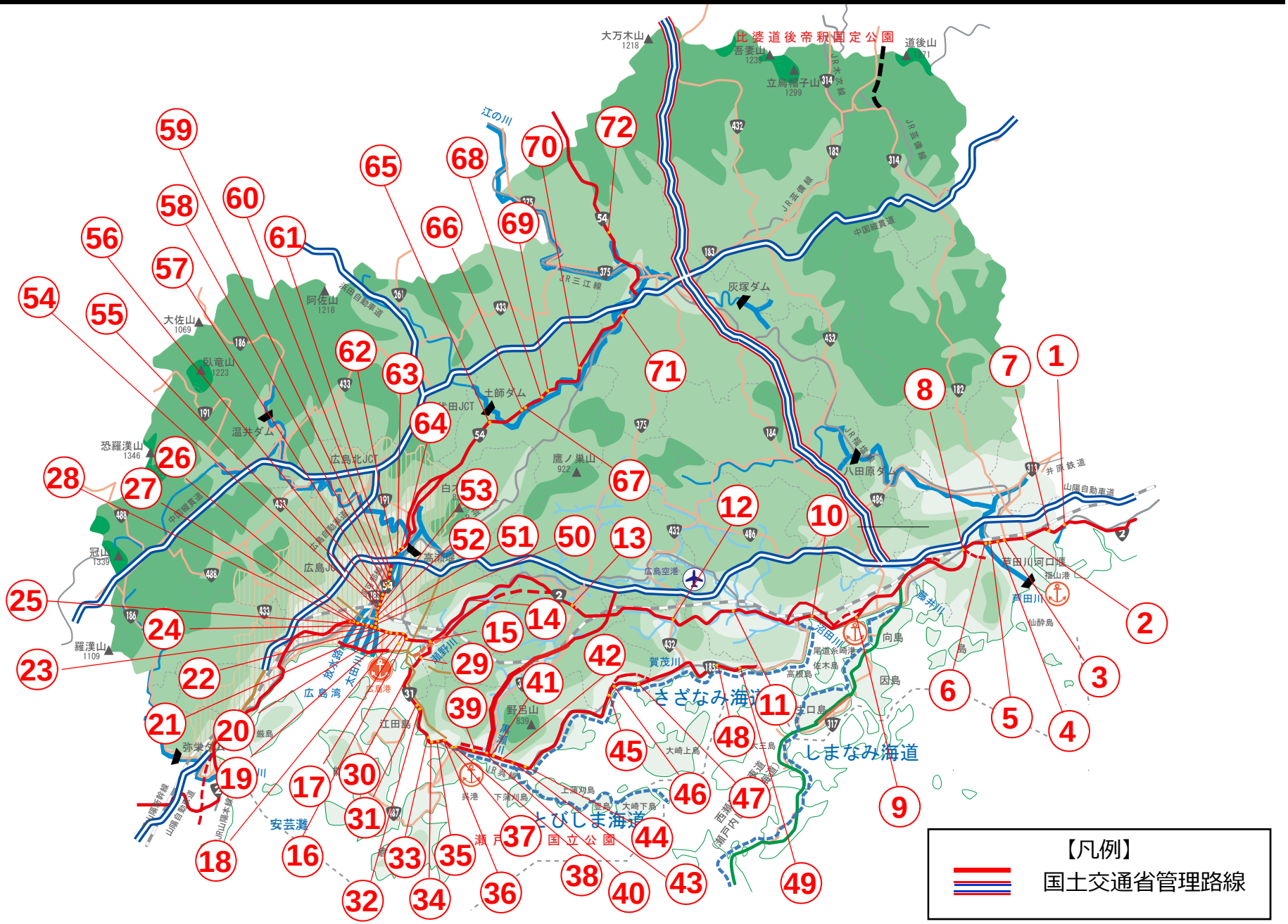
広島県事故ゼロプランの箇所図（代表事業）



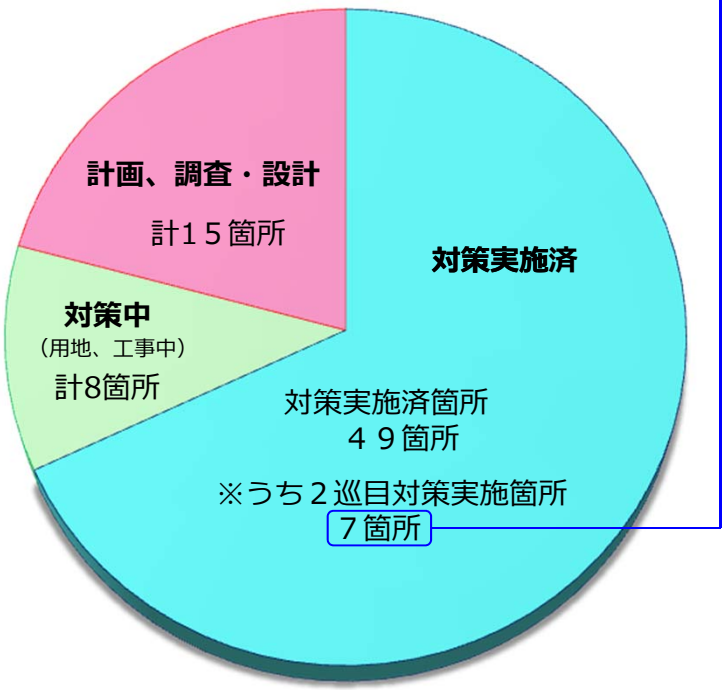
広島県事故ゼロプランの進捗状況

広島県事故ゼロプランのPDCA　進捗状況まとめ

PDCA	取組の進捗状況	対応状況	2巡目
①Plan	計画、調査･設計	15	
②Do	用地	5	
	工事	3	1
③Check	経過観察中	34	6
④Action	再検討中	7	1
合計		72	

凡　例

- 対策実施済
- 対策中
- 計画、調査・設計



■事故ゼロプラン代表７２箇所

・事故ゼロプラン７２箇所のうち４９箇所（約68%）は対策実施済みです。
・対策実施済み箇所のうち、引き続き対策の必要性がある箇所については2巡目の対策を実施しています。

広島県事故ゼロプランのPDCAサイクル事例　東雲本町交差点（広島県広島市南区）

1．対策前の状況

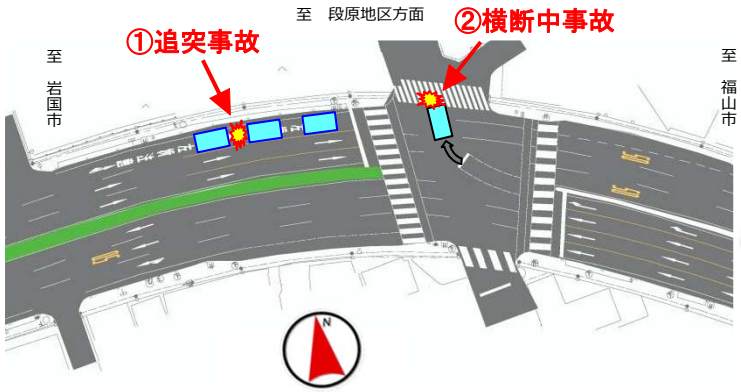
【事故要因】

・カーブ区間であり前方の状況が確認しにくいため渋滞時には**追突事故**が発生

・市内へのアクセスポイントである段原地区方面への右折交通量も多く、横断者への注意が散漫となりやすいことから**横断中の事故**が多発

2．対策にむけた取り組み状況

国道２号 東雲本町交差点



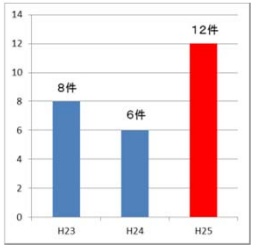
【位置図】

Plan（計画）

【交通事故の対策立案】

- 事故危険区間該当箇所
- H26.6.2 県警・広国・広島市　合同現地点検
- 対策案検討・詳細設計
- H26.8.14 報道番組にもとりあげられる
- H26.10 対策工事

東雲本町交差点　人身事故件数



段原地区開発により事故件数急増

合同現地点検状況

Do（実施）

【対策の実施】

事故要因

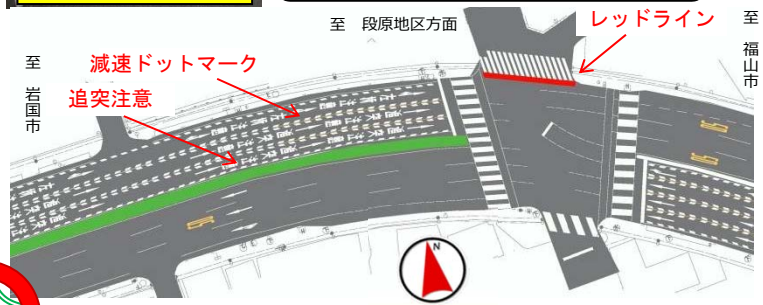
【①追突事故】
・減速の遅れ
・カーブ区間で前方の状況が確認しにくい

【②横断中事故】
・二輪車や対向直進車が多く横断者への注意が散漫
・カーブ区間で前方の状況が確認しにくい

事故対策

【追突事故】
・追突注意文字（区画線）
・減速ドットマーク（区画線）

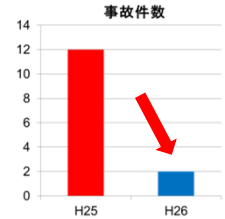
【横断中事故】
・レッドライン設置



Check（確認）

【対策後の事後評価（効果の確認）】

■事故状況（短期確認）



12件→2件
10件減少

調査期間

H25:平成25年1月1日～12月31日

H26:平成26年1月1日～12月31日

Action（反映・改善）

【対策効果の可否による反映と改善】

事故件数の減少がみられ、一定の効果が発現できたものと考えられます。また、右折進入車については県警で矢印信号の調整を行うなどソフト面の対応を行っています。今後も引き続き関係機関と調整し、視距改良の改善に向けた検討を行っていく予定です。

→確認・経過観測を継続

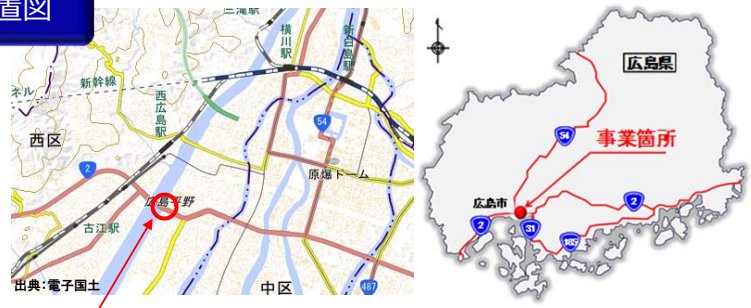
【広島県】事故ゼロプラン対策結果・効果事例

道路状況・交通状況

国道２号 旭橋東詰交差点（あさひばしひがしづめ）

・国道２号（広島市西区）に位置する交差点
・旭橋は上下線が分離した橋梁のため、右折車両から対向直進車両がみえづらく右折時事故と、右折待ち車両による後続車阻害が原因の追突事故の危険性があります。
・交通量：：44,207台/日（H22センサス）
　規制速度50km/h

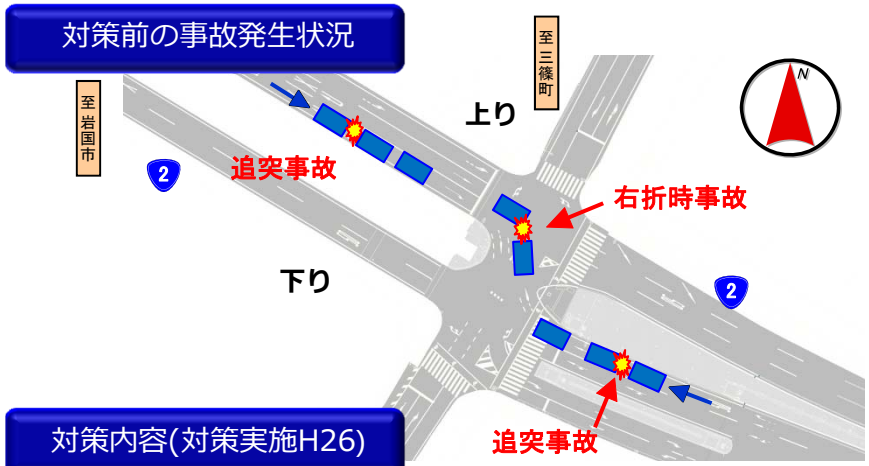
位置図



事業箇所

旭橋東詰交差点（あさひばしひがしづめ）（広島県広島市西区）

対策前の事故発生状況



[右折時事故]
・橋梁の柱等により対向直進車の見通しが悪い

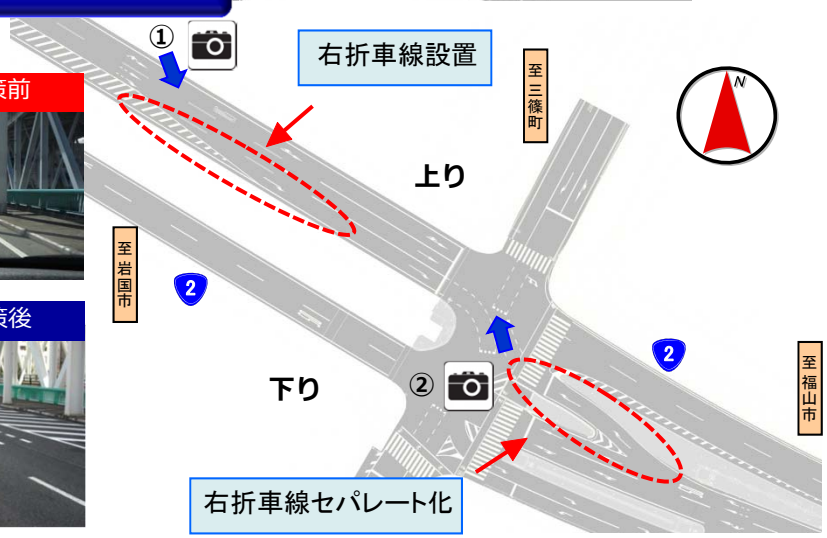
[追突事故]
・右折待ち車両が後続車両を阻害

対策内容(対策実施H26)

①

上り：対策前

上り：対策後



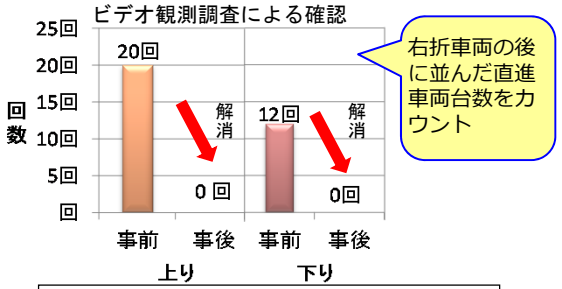
②

下り：対策前

下り：対策後

対策効果

■右折待ち車両による後続車の阻害



【ビデオ観測調査日】
事前：H26.9.3（水）　7:00～10:00/15:00～18:00
事後：H27.2.24（火）7:00～10:00/15:00～18:00

利用者の声

・福山方面から三篠町方面へ右折がしやすくなった
・右折待ち車両が前にいて直進できなくなることがなくなった

対策結果

・対策実施後、後続車への阻害が解消
・今後、経過観測箇所として効果分析を行う